

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	テクノプラザおかや管理事業			コード	11501	
2 担当部課	部等	経済部	課等	工業振興課	作成者	真田 健
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	基幹産業の振興	施策	工業の振興	
		予算科目	テクノプラザおかや管理費/テクノプラザおかや自主事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	テクノプラザおかや条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
施設の概要（簡潔に）	工業振興の拠点施設として、施設の適切な維持管理を行う。また、市内企業がテクノプラザおかやの機能を活用することで、企業の活性化を図る。	
目的	対象者	市内企業、関係団体
	意図	産業の振興と地域経済の活性化

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	25年度指定管理料 円
施設における通常業務	施設管理、予約、使用料徴収、清掃、警備、案内等を行った。 ○開館時間 午前8時30分から午後9時30分まで。土日は午後5時30分まで。 ○休館日 国民の祝日、年末年始
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 施設管理、予約、使用料徴収、清掃、警備、案内等を行った。 ・利用状況… 1,198件 (30,777人)
前年度の課題への対応	日々の点検により、利用者に安心、安全なサービスを提供できるよう、施設の適正管理を行った。

6 施設の利用状況		*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 施設稼働率	28.4%	25.0%	26.1%		
年間開設日数（日）	339	340	343	340	
1日の開設時間（時間）	11	11	12	12	
年間利用可能時間（時間）	3,841	3,849	4,017	4,080	
年間利用実績（時間）	1,089	963	1,048		
② 年間利用者数（人）				0	
有料利用者数					
無料利用者数					
減免措置者数					
③ 年間利用件数（件）	1,321	1,153	1,198	1,275	
有料利用件数	849	871	914	1,000	
無料利用件数	323	172	175	175	
減免措置件数	149	110	109	100	
④ 1日あたり利用者数、件数	3.9	3.4	3.5	3.8	
⑤ 施設利用状況の説明					

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	32,441,292	31,786,318	32,114,435	32,534,000
経常経費	31,359,792	31,352,668	31,679,609	32,334,000
臨時的経費	1,081,500	433,650	434,826	200,000
* 臨時的経費の説明	H25 エアコン、加圧給水ユニット、冷温水ポンプ修繕			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	6,800,000	6,800,000	6,800,000	6,800,000
正規職員の人数(人)	0.85	0.85	0.85	0.85
③ 合計コスト(①+②)	39,241,292	38,586,318	38,914,435	39,334,000
前年度比		98.3%	100.9%	101.1%
財源	30,592,775	29,232,651	29,468,236	32,649,000
内訳				
一般財源	30,592,775	29,232,651	29,468,236	32,649,000
特定財源	8,648,517	9,353,667	9,446,199	6,685,000
* 特定財源の説明	テクノプラザおかや使用料、実費徴収金等			
④ 施設使用料年間収入額	5,711,075	6,923,100	6,600,200	6,685,000
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	17.6%	21.8%	20.6%	20.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	28,887	33,090	32,120	
前年度比		114.5%	97.1%	
⑧ コストに関する補足説明	-			

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 103.0%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比 95.3%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)
	・施設老朽化による修繕費の増が課題
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	・定期的な点検を行い、適切な施設管理を行う。
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B	
13 大規模修繕の予定				
予定事業費	未定	円	予定時期	未定
内容	大研修室ピット修理、外壁修理、屋根補修工事			